

■北東北の観光団体・DMOが八幡平へ集結、「北東北DMO連携会議」を開催！（畑）

11月28日、北東北の13の観光団体やDMOなどが八幡平市に集結し、「北東北DMO連携会議」を開催。長引くコロナ禍からの観光復活に向け、各DMOが活動報告や情報共有を行いました。北東北の広域周遊など緩やかな連携を図りながら、インバウンド復活に向けて魅力的な観光地域づくりを進めていければ、という思いを新たにしました。

URL:<https://onl.la/Fd1Kzxt>



■牧野の感謝祭in八幡平のイベントを開催しました！（柴田）

八幡平DMOが事務局を務める岩手山SA周辺観光振興協議会は、岩手山麓エリアの8施設様(道の駅にしね、いこいの村岩手、ビジネスホテル西根、わしの尾、サラダファームヴィレッジ、岩手山焼走り国際交流村、ジオファーム八幡平、岩手山サービスエリア(敬称略、順不同))と連携し、この地区の観光振興を図るべく、「アグリツーリズム」をテーマに、ツアーの実施やわしの尾のペアリング料理のプロデュースして参りました。11月12日にはこの協議会で「牧野の感謝祭in八幡平」を実施し、多くのお客様にお越し頂くことができました。当日のイベントの様子・詳細は八幡平DMOのFaceBookに掲載をしています。

ぜひご覧ください。

URL：<https://onl.tw/MTnGa81>



■九州本社のIT企業によるワーケーションが新安比温泉静流閣静流閣で行われました！（柴田）

本年4月にワーケーションルームとコワーキングスペースを備えた宿としてリニューアルした新安比温泉静流閣に、観光庁の実証実験で九州本社のIT企業カラビナテクノロジー株式会社様がワーケーション滞在を実践。滞在中はテレワークをしながら、七時雨山荘のサウナを体験及び温泉と肉を使わない美食膳で体調を整えたり、あしろグルチャリ(E-BIKE)で不動の滝を始めとした安代地区の見所を巡って事業者と交流したりと、充実した時間をお過ごし頂きました。盛岡からのアクセスもよく、コンビニなどの生活施設も整う新安比温泉静流閣の可能性をおおいに感じるワーケーションでした。

※当日の様子等は八幡平DMO Facebookにて掲載をしています。宜しければ是非ご覧ください。

URL:<https://onl.tw/6V2sdx7>



■10月来八した観光客の声を分析したマンスリーレポートを八幡平DMOのHPで公開中です！（長野）

先月から観光客の声を毎月分析し、八幡平DMOマンスリーレポートとしてDMOのウェブサイトで公開しています。日々アップデートされるデータを見ていると、実際に八幡平を観光した旅行者の声ほど、八幡平の魅力や施策に活かせるアイデア、今後の改善点をお客様目線で気づかせてくれるデータはないなど実感します。

10月には八幡平のお客様135名から貴重な声を頂きました。ぜひその声の持つパワーをレポートやダッシュボードで実感してみてくださいね。

URL:<https://hachimantai-dmo.trip8.jp/category/index/>

■次回開催のリクエスト多数！「八幡平スノーリゾートこれからの戦略」共有会を開催しました(田村)

11月10日、安比ペンションビレッジ内ロッキーインにて、今季及び今後のスノーリゾート戦略に関する共有会を開催、当日は約30名(オンライン6名)の観光事業者様や地域事業者様にご参加頂きました。スノーリゾート活性化に向けた「スキーリゾートとしての在り方」を(株)岩手ホテルアンドリゾート顧問皆川賢太郎氏よりお話頂き、「八幡平市のウィンター観光事業今期施策(販売戦略・誘致ターゲット等)」については、安比高原スキー場総支配人畠山護氏と、八幡平リゾートパノラマ・下倉スキー場代表取締役総支配人佐藤圭一氏より共有頂きました。参加者の皆様からは「大変わかりやすかった」「噂が先行するなど、本当の事がわからなかったが、わかってとてもよかった。応援したい」等、前向きで率直なご意見が多く頂戴し、また質疑応答時間では、地域事業者様より地域商品のより良い活性化について有意義な意見交換がなされ、次につながる交流の場にもなりました。



■七時雨サウナの売りは贅沢な景観を独占する“外気浴”！「七時雨サウナ観光体験会」(田村)

11月13日、市民や市近郊の皆様を対象に、八幡平市へ訪れる観光客から人気の観光アクティビティを体験頂く「観光体験会」を開催致しました。第3回目となる今回は、七時雨山荘に昨年新設された「サウナイーハトープ」。このサウナは、全て岩手産のものを使って造られ、ロウリュを楽しめるほか、何より広大な七時雨山の自然を眺めながら外気浴できる贅沢さ・希少価値の高さに、全国からサウナ通が通い詰めるほどの人気で、全国に流通するサウナ雑誌の表紙も飾りました。参加者は市内外から20～60代の10名。七時雨山荘の人気を聞きつけてのご参加で、参加後全員が自身のSNSにて感想を投稿し多くの「いいね！」を獲得、八幡平の新サウナはどんどん認知が広がっています。



■12月中旬から八幡平のコンテンツをめぐる音声ARを実施します！(清永)

今年度の観光庁「DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進による観光・地域経済活性化実証事業」で、観光音声メタバースコンソーシアム 地域の、地域による、旅行者の為の音声AR事業に八幡平市が参画しました。これは、特定のスポットを訪れると自動的にその場に応じた音声や音楽が聞こえてくるソニー株式会社のLocatone™(ロケトーン)アプリを使ったSound AR™サービスを使い、スキー場に来場したお客様が八幡平エリアの飲食店や温泉、物産店を訪れると、皆川賢太郎氏の音声ナビゲートで地域の回遊を楽しめるという取り組みです。スキー場のお客様が地域をどのように回遊するかもデータで取れますので、後日その結果をご報告したいと思います。

■ファンコミュニティづくりの取り組みを行なっています！(清永・長野・鈴木)

昨年からの宿泊施設でご協力頂いたアンケート調査を他の施設にも広げ、アンケートに答えて頂いたお客様のファンコミュニティを作り、地域として常時コミュニケーションを取れるようにする取り組み(CRM: Customer Relationship Management)を進めています。一度八幡平に訪れた観光客や八幡平に興味を持った方々に対して、メールなどで繰り返しアプローチできる体制を作ることで、八幡平のモノ(体験や商品)を購入して頂いたり、八幡平に再来訪して頂いたりすることを目的とした取り組みです。交流人口(観光客)として地域にお金を落としてもらったり、関係人口(地域と多様に関わる人々)として地域に関わって頂いたりすることで、最終的に移住者の増加やお金を呼び込む動きに繋げることを目標に、地域全体で稼ぐ仕組みをDMOとして作って参ります。